２．６　SSH授業報告（英語分野）

(1) 研究開発の課題（研究概要）

本校のSSHの研究題目「明日の世界を拓く科学技術人材の育成～国際性の伸長と主体的探究心の形成」にのっとり、最先端の科学を扱った英語教材を選び、読解と発表をすることとした。内容に興味が持てる大学の理工系学部で使われる教科書を採用した。

(2) 仮説（ねらい、目標）

ア　最先端の科学を中心に扱った英文に慣れ親しむ。

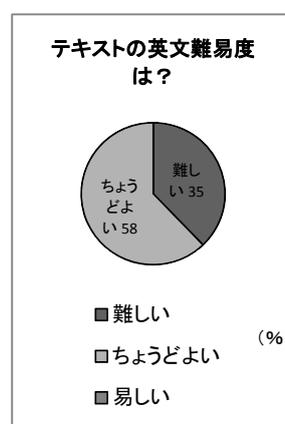
イ　自分の意見を英語でまとめ、発表する力を養成する。

(3) 授業内容

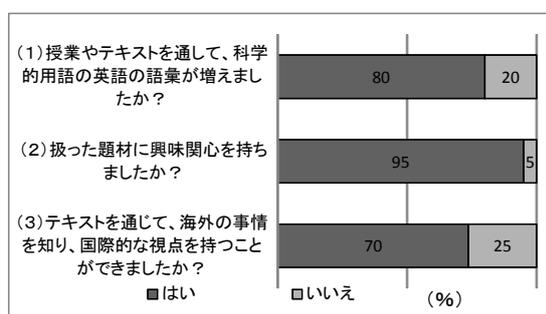
ア　対象生徒　２年生理系　210 名

イ　内容

テキスト「First Steps to SciTech English Intermediate」（桐原書店）を用いて、下記のテーマについて学習した。

講読 1	「IC チップ」「ホームページのリンク」について読む
講読 2	「ミクロの潜水艦」「製品機能の紹介」について読む
講読 3	「蒸気料理」「取扱説明書・仕様書」について読む
講読 4	「ネット百科事典」「ネット辞書」について読む
講読 5	「宇宙エレベータ」「広告」について読む
講読 6	「マジックハウス」「雑誌の目次」について読む
講読 7	「薬と柑橘類」「医薬品服用ガイド」について読む
講読 8	「ネット広告」「ネット地図」について読む
講読 9	「省エネガラス」「求人広告」について読む
講読10	「投薬」「注文書」について読む
講読11	「将来の飛行機」「インターネット検索」について読む
講読12	「将来のエネルギー」「研究論文の要約」について読む
講読13	「遺伝子」「定義文」について読む
講読14	「リモコンで人間が動く」「特許」について読む

(4) 評価

毎学期の実力考査で語彙・内容に関する評価を実施した。また、３学期半ばに今まで読んだテキストの話題から、興味のあった題目を選ばせ、自分の考えやそれに対する感想を200語程度で書かせた。また、生徒の書いた文章に対する評価や指導は、ALTを交えて実施した。

(5) 検証（結果と反省）

教材を選ぶ上で、最先端の科学を扱い、内容に興味が持てるものを吟味したが、９割を超える生徒が題材に関心を持つことができたので、今後も採用していきたい。採用する教師の側では英語の文構造が平易と思ったが、生徒にとっては語彙が難しいため、難しいと感じた生徒も多少いたようである。内容に関しては、最先端のものを扱った「宇宙エレベータ」、身近な問題である薬の飲み合わせ「薬と柑橘類」に興味を持った生徒が多かった。理学部や工学部を目指す生徒、医学部や農学部を目指す生徒で興味が分かれるのは仕方がないことだと思われる。多くの生徒が科学的用語の英語の語彙が増え、論文を書いたりプレゼンテーションをしたりする経験はまだ少ないので、次年度以降にこれらの活動をもっと取り入れていきたい。生徒自身も英語のプレゼンテーションができるようになるために、その科学分野の語彙と、知識を蓄積させ、その上でツールとしての英語運用能力を高めるように指導していきたい。